

平成27年度 子供ゆめ基金体験の風リレーションシップ事業
ブックワールド

1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

子供たちに読書活動を推進することをおして、読書の楽しさや面白さを感じてもらい、進んで読書をしようとする態度を育む。また、子供の体験活動や読書活動の振興をおして、子供ゆめ基金の普及啓発を行う。

2. 事業の概要

（1）期日

平成27年12月7日（日）日帰り

（2）参加者

① 募集対象・人数

幼児から小学校中学年とその家族（子供だけの参加は不可）・150人

② 参加人数

156人

（3）講師等

おはなしグループ「そらきたホイ！！」

人形劇団「三門だんご」

つんちゃん劇場

ぼびいの紙芝居

糸あやつり人形劇団「びっくりばこ」

中国学園大学 子供学部 子供学科

（4）企画・運営のポイント

地域の図書館、市教育委員会等へ読書団体の照会を図り、新たに3団体と連携して実施することができた。また、人形劇の台詞部分のかけ声に参加したりクラフトで笛作りを体験したりすることを取り入れることで、参加型の体験も取り入れた。普段滅多に見ることのない「糸あやつり人形」についても、実際にどのようにして動かすのかを子供たちに見てもらい、本を読む面白さと体験をおして感じてもらうことのできる内容を企画した。

3. 活動の内容等

（1）日程

	9	10	11	12	13	14	15	16
おはなしグループ「そらきたホイ！！」		公演①				公演②		
ぼびいの紙芝居			公演①				公演②	
人形劇団「三門だんご」		公演						
つんちゃん劇場					昼食休憩	公演		
糸あやつり人形劇団「びっくりばこ」			公演①				公演②	
中国学園大学 子供学部 子ども学科		公演①				公演②		
		受付						解散

(2) 活動の状況



【そらきたホイ】



【ぼびいの紙芝居】



【びっくりばこ】



【三門だんご】



【つんちゃん劇場】



【中国学園大学】

4. 成果・課題

(1) 満足度

満足：96% やや満足4%

(2) 参加者の声

- ① 企画はとても素晴らしいと思います。子供にとってこのような体験は大切なものでありがたいです。ただ1時間は子供には長すぎるかもしれません。
- ② 来年も参加したいです。天気が良かったから今年は良かったが、12月は凍結も心配なので、時期がどうなのかなと思いました。

(3) 成果

- ① ライブを交えた紙芝居や糸あやつり人形劇など、普段見たことのない公演内容だったことで、参加者には新鮮で貴重な体験となった。さらに多くの公演が見たという昨年の意見を踏まえ、公演回数を昨年より多く入れることで、ほとんどの公演を見ることができた。
- ② 入場券に食券と演目・場所・時間の入ったものを今回新たに作った。そのおかげで昼食時のレストランの混雑が緩和され、スムーズなレストラン利用ができていた。受付以外に人目につきやすい所に掲示したことで、初めての参加者には分かりにくい場所でもスムーズに移動できた。

(4) 今後の課題

県内幅広くチラシの配付や新聞掲載、インターネットでの広報を行ったが、期待ほどの参加人数に達することができなかった。同時期に各市町や図書館でも同じような事業を実施していたことも要因である。今後は開催時期や集客方法、内容をさらに精査する必要がある。

担当：企画指導専門職 徳永 正樹